

東証1部 4631

DIC株式会社

2021年度決算説明資料

2022年2月



Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE Blossom
Japan



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index



DIC株式会社

ハイライト

2021年の振り返り

- 売上高は、前年同期比+22.0%の8,554億円。2021年7月から業績が連結対象となったC&E顔料事業（旧ドイツBASF社のColors & Effects顔料事業）を除くと、+15.3%の増収。高付加価値製品である半導体、電気・電子向け材料などの出荷が好調に推移した。また、生活必需品である食品包装分野の出荷が堅調であった。自動車向け材料は、地域・品目によって半導体不足などによる自動車減産の影響が見られたが、総じて出荷が堅調に推移した
- 営業利益は、前年同期比+8.1%の429億円。C&E顔料事業を除くと、+31.6%の増益。年間を通じて、原油価格上昇などによる原料コスト増加の影響を受けたが、継続的に価格対応に取り組むことでコスト増加影響の低減に努めた。しかしながら、C&E顔料事業の売上高が伸び悩んだことに加え、同事業に係る営業費用が一時的に増加したことなどが、増益幅を押し下げた
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、連結納税を行う米国で繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を計上したため、大幅な減益

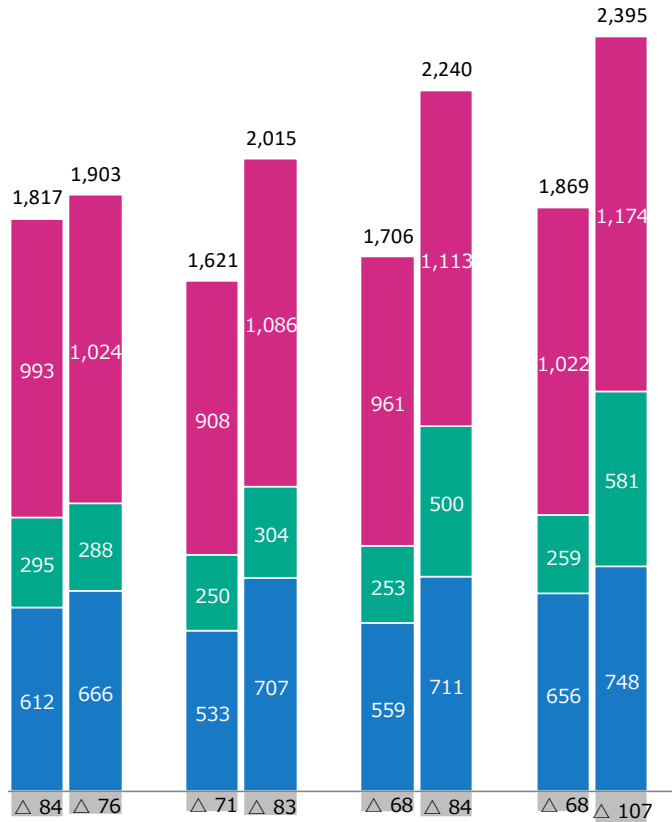
2022年の見通し

- 売上高9,500億円、営業利益は540億円の見通し。C&E顔料事業の業績改善、高付加価値製品の拡販に努めるとともに、原料コスト増加への継続的な価格対応により増収、増益を見込む

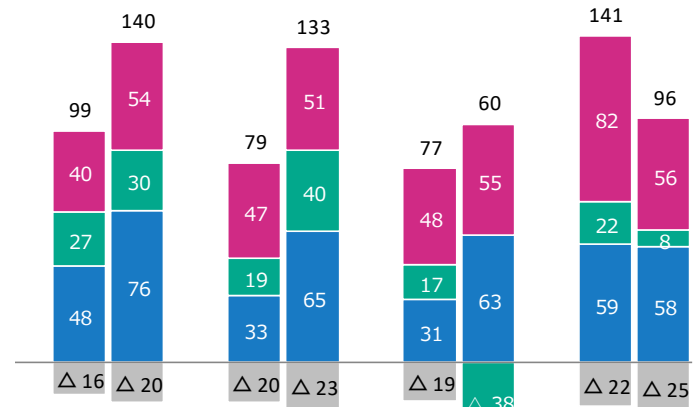
当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2021年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別四半期業績推移

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



パッケージング & グラフィック

カラー & ディスプレイ

ファンクショナルプロダクト

その他、全社・消去

業績概要

(億円)	2020	2021	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	7,012	8,554	+ 22.0%	+ 18.2%	9,500	+ 11.1%	+ 11.1%
(C&E除く)	(7,012)	(8,087)	(+ 15.3%)	—	—	—	—
営業利益	397	429	+ 8.1%	+ 7.1%	540	+ 25.9%	+ 26.1%
(C&E除く)	(397)	(522)	(+ 31.6%)	—	—	—	—
営業利益率	5.7%	5.0%	—		5.7%	—	
経常利益	365	438	+ 20.0%		535	+ 22.3%	
純利益*	132	44	△67.0%		280	+ 541.4%	
1株当たり純利益 (円)	139.81	46.12	—		295.81	—	
EBITDA**	556	690	+ 24.1%		880	+ 27.5%	
平均レート	USD/円	106.37	109.75	+ 3.2%	110.00	+ 0.2%	
	EUR/円	121.43	129.73	+ 6.8%	130.00	+ 0.2%	

* 親会社株主に帰属する当期純利益

** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

連結損益計算書

(億円)	2020	2021	増 減
売上高	7,012	8,554	1,542
売上原価	△ 5,444	△ 6,781	△ 1,336
販売費及び一般管理費	△ 1,171	△ 1,344	△ 173
営業利益	397	429	32
金融収支	△ 10	△ 10	0
持分法投資損益	8	29	22
為替差損益	△ 14	3	16
その他	△ 16	△ 14	3
経常利益	365	438	73
特別利益	71	13	△ 58
特別損失	△ 184	△ 129	55
税前利益	251	321	70
法人税等*	△ 87	△ 257	△ 170
当期純利益	164	65	△ 100
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 32	△ 21	11
親会社株主に帰属する当期純利益	132	44	△ 89
平均レート USD/円	106.37	109.75	
EUR/円	121.43	129.73	

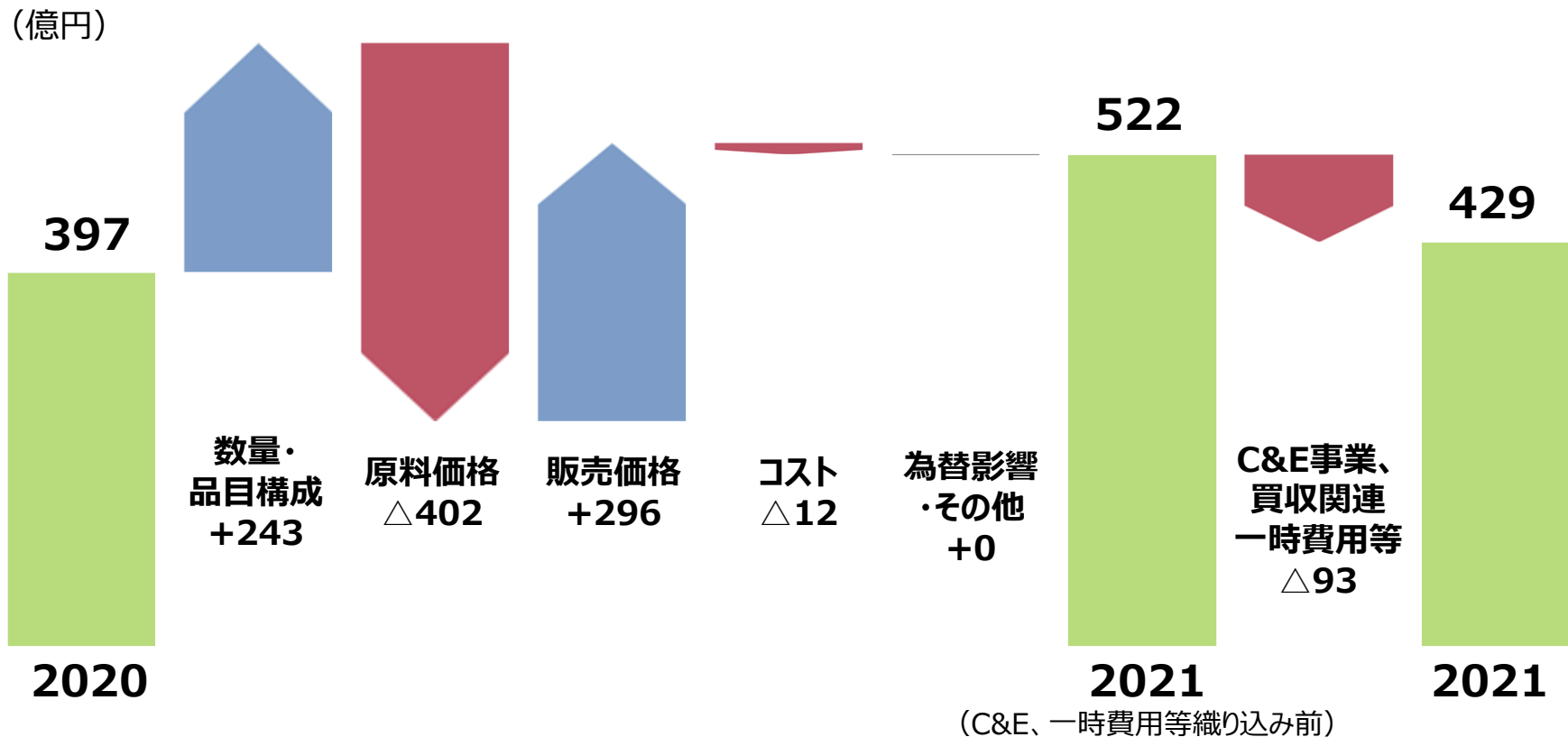
特別損益の内訳	2020	2021
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	-	8
固定資産売却益	52	5
負ののれん発生益	13	-
受取保険金	5	-
特別損失		
買収関連費用**	△ 46	△ 69
固定資産処分損	△ 29	△ 31
減損損失	△ 13	△ 16
リストラ関連退職損失	△ 9	△ 5
災害による損失	-	△ 5
環境対策引当金繰入額	-	△ 3
事業整理損	△ 88	-

* 米国での繰延税金資産取り崩しによる法人税等調整額の計上

**C&E買収関連

営業利益増減要因

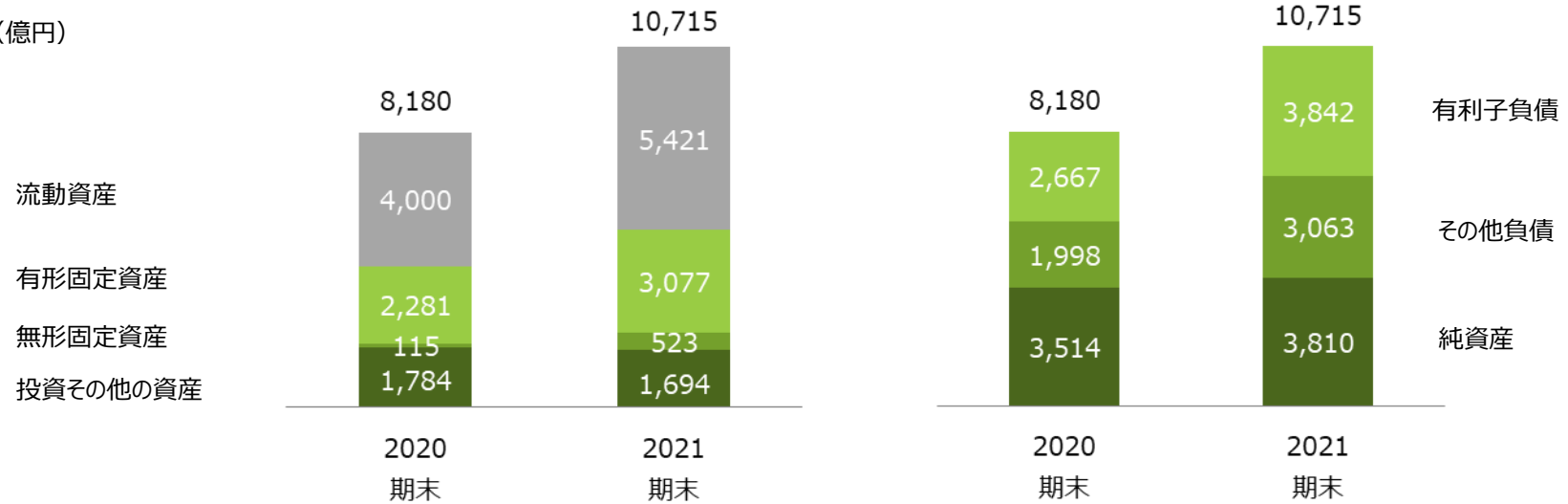
- 売上数量の増加に加えて、高付加価値製品の好調な出荷により品目構成が改善
- 全地域で原料コストが急激に増加したが、価格対応を進めた
- 買収関連一時費用を含むC&Eの営業利益は△93億円。世界的なコンテナ不足により海運需給が逼迫したことや統合後の物流体制の構築に時間を要したことにより売上が伸び悩んだ



財務体質

バランスシート

(億円)



財務体質

(億円)	2020 期末	2021 期末	増減
ネット有利子負債	2,219	3,460	1,241
自己資本	3,185	3,459	274
ネットD/エレシオ *	0.7倍	1.0倍	
(ネットD/クレシオ **)	(38.7%)	(47.6%)	
自己資本比率	38.9%	32.3%	
1株当たり純資産 (円)	3,364.92	3,654.61	
期末レート USD/円	103.14	115.10	

! C&E買収のため増加

* ネットD/エレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

** ネットD/クレシオ： ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020	2021	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021
パッケージング & グラフィック	3,884	4,398	514	+ 13.2%	+ 9.8%	218	216	△ 1	△ 0.7%	△ 0.2%	5.6%	4.9%
日本	1,023	1,147	123	+ 12.0%	+ 12.0%	53	48	△ 4	△ 8.2%	△ 8.2%	5.2%	4.2%
米州・欧州	2,354	2,651	297	+ 12.6%	+ 8.8%	122	132	10	+ 8.4%	+ 10.2%	5.2%	5.0%
アジア他	620	731	111	+ 17.9%	+ 10.4%	44	38	△ 6	△ 14.1%	△ 18.7%	7.1%	5.2%
連結調整	△ 114	△ 130	△ 17	-	-	△ 1	△ 2	△ 1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,058	1,672	614	+ 58.0%	+ 51.7%	84	40	△ 45	△ 53.2%	△ 49.3%	8.0%	2.4%
日本	279	326	47	+ 16.8%	+ 16.8%	56	69	13	+ 22.9%	+ 22.9%	20.0%	21.1%
海外	852	1,457	605	+ 71.0%	+ 62.7%	28	△ 28	△ 56	赤字化	赤字化	3.3%	-
連結調整	△ 74	△ 112	△ 38	-	-	0	△ 2	△ 2	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	2,360	2,833	473	+ 20.1%	+ 17.1%	171	262	91	+ 53.2%	+ 49.4%	7.2%	9.2%
日本	1,761	2,013	251	+ 14.3%	+ 14.3%	83	161	78	+ 93.7%	+ 93.7%	4.7%	8.0%
海外	809	1,083	275	+ 34.0%	+ 25.3%	87	101	13	+ 15.3%	+ 7.5%	10.8%	9.3%
連結調整	△ 210	△ 263	△ 53	-	-	1	0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 290	△ 349	△ 59	-	-	△ 76	△ 89	△ 12	-	-	-	-
連結合計	7,012	8,554	1,542	+ 22.0%	+ 18.2%	397	429	32	+ 8.1%	+ 7.1%	5.7%	5.0%
USD/円	106.37	109.75		+ 3.2%		106.37	109.75		+ 3.2%			
EUR/円	121.43	129.73		+ 6.8%		121.43	129.73		+ 6.8%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイ セグメントに含まれている

パッケージング&グラフィック

売上高

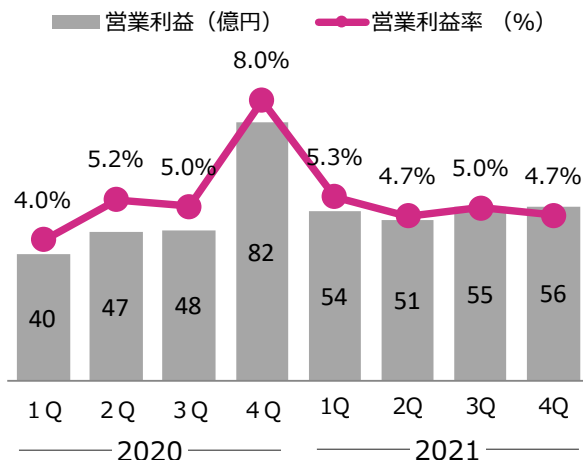
- 当社の印刷用インキの約7割を占めるパッケージ用インキは、食品包装用途の出荷が堅調に推移
- デジタル印刷で使用されるジェットインキは経済活動の回復に伴う需要増により好調な出荷

営業利益

- 原料価格上昇による原料コストの増加の影響が一層強まり各地域で価格対応に取り組んだ。日本とアジアでは価格改定が遅れ減益となったが、セグメント全体ではほぼ前年並みを維持した

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020	2021	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2020	2021	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2020	2021
パッケージング&グラフィック	3,884	4,398	514	+ 13.2%	+ 9.8%	218	216	△ 1	△0.7%	△0.2%	5.6%	4.9%
日本	1,023	1,147	123	+ 12.0%	+ 12.0%	53	48	△ 4	△8.2%	△8.2%	5.2%	4.2%
米州・欧州	2,354	2,651	297	+ 12.6%	+ 8.8%	122	132	10	+ 8.4%	+ 10.2%	5.2%	5.0%
アジア他	620	731	111	+ 17.9%	+ 10.4%	44	38	△ 6	△14.1%	△18.7%	7.1%	5.2%
連結調整	△ 114	△ 130	△ 17	-	-	△ 1	△ 2	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 8%	米州・欧州で堅調な出荷
出版用インキ*	+ 12%	安定供給を背景に北米・欧州でシェアを増やし出荷増
ジェットインキ	+ 20%	屋外広告（看板・ポスター）やバナーなどの産業用およびダイレクトメールなどの商業印刷用の需要回復により出荷好調
ポリスチレン	+ 42%	スーパー、テイクアウト等での食品包装用途が好調であることに加え、価格改定による単価上昇により大幅な増収
多層フィルム	+ 2%	フードロス削減対応の食品包装に対する需要があり堅調な出荷

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

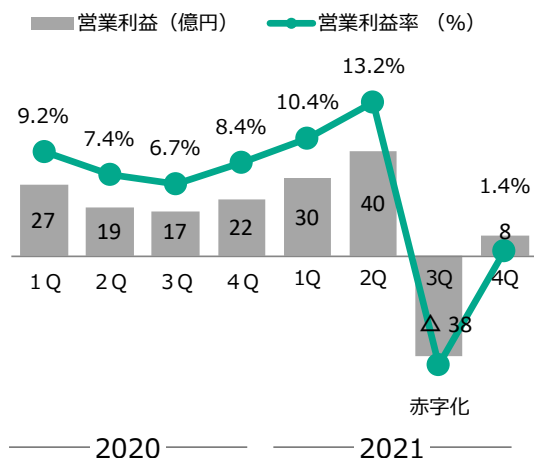
- 塗料・プラスチック用顔料の出荷が堅調。カラーフィルタ用顔料や、スペシャリティ用途が中心となる光輝材は引き続き好調な出荷
- 中国ローカルメーカーとの競争激しく、TFT液晶は減収

営業利益

- C&E買収関連の一時費用や、同事業の出荷遅れにより減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020	2021	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021
カラー & ディスプレイ	1,058	1,672	614	+ 58.0%	+ 51.7%	84	40	△ 45	△ 53.2%	△ 49.3%	8.0%	2.4%
日本	279	326	47	+ 16.8%	+ 16.8%	56	69	13	+ 22.9%	+ 22.9%	20.0%	21.1%
海外	852	1,457	605	+ 71.0%	+ 62.7%	28	△ 28	△ 56	赤字化	赤字化	3.3%	-
連結調整	△ 74	△ 112	△ 38	-	-	0	△ 2	△ 2	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
一般顔料	+ 72%	C&E買収により、塗料・プラスチック用顔料の売上高が大幅に増加
機能性顔料	+ 39%	カラーフィルタ用顔料は好調な出荷が継続。光輝材を中心とするスペシャリティ用顔料及び化粧品用顔料はC&E買収により売上高が大幅に増加
液晶	△ 20%	中国ローカルメーカーとの競争激しく、減収
ヘルスケア食品	+ 11%	天然系青色素が出荷増

カラー&ディスプレイ 補足資料

カラー&ディスプレイ業績内訳（億円）

	売上高				営業利益			
	2020	2021	増減	増減比	2020	2021	増減	増減比
カラー&ディスプレイ	1,058	1,672	614	+58.0%	84	40	△45	△53.2%
既存事業	1,132	1,317	185	-	84	132	48	-
C&E	-	467	467	-	-	△53	△53	-
一時費用	-	-	-	-	-	△40	△40	-
連結調整	△74	△112	△38	-	0	0	0	-

- 世界的なコンテナ不足により海運需給が逼迫したことや統合後の物流体制の構築に時間を要したことにより、C&Eの売上高が伸び悩んだ結果、C&Eの営業利益は前回予想を下回った
- 物流体制に起因した出荷の遅延は既に対応を進めており、解消に向かっている
- 一時費用として棚卸資産ステップアップによる売上原価の増加が40億円発生。来期以降の発生は無し

ファンクショナルプロダクツ

売上高

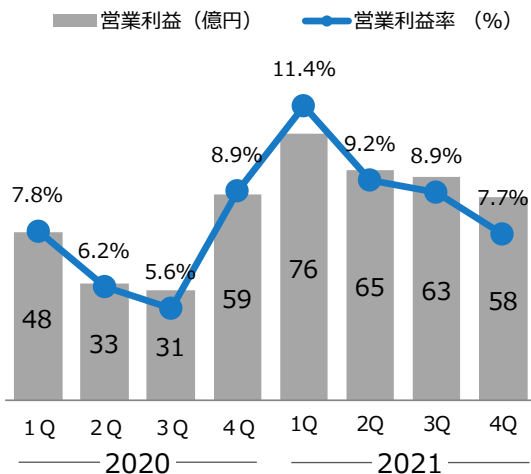
- アジアでは自動車減産影響を受けた出荷の減速があったが、日本での影響は限定的で自動車やエレクトロニクス関連を中心に好調な出荷が継続

営業利益

- 全地域で原料コスト増加の影響が出ているものの、継続的な価格対応及びエポキシ樹脂など高付加価値製品の好調な出荷により大幅な増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020	2021	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2020	2021	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2020	2021
ファンクショナルプロダクツ	2,360	2,833	473	+ 20.1%	+ 17.1%	171	262	91	+ 53.2%	+ 49.4%	7.2%	9.2%
日本	1,761	2,013	251	+ 14.3%	+ 14.3%	83	161	78	+ 93.7%	+ 93.7%	4.7%	8.0%
海外	809	1,083	275	+ 34.0%	+ 25.3%	87	101	13	+ 15.3%	+ 7.5%	10.8%	9.3%
連結調整	△ 210	△ 263	△ 53	-	-	1	0	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
サステナブル樹脂*	+ 21%	アジアで自動車減産影響が見られたが、日本では堅調な需要が続いている
エポキシ樹脂	+ 23%	電子機器向けが好調
PPSコンパウンド	+ 25%	半導体不足の影響が懸念されるなか、堅調な出荷
工業用テープ	+ 16%	スマートフォンなどのモバイル機器向けの出荷が好調
中空糸膜モジュール	+ 33%	半導体製造用途の出荷が好調


*環境対応と機能性を高めることを目指した樹脂戦略製品の総称で、水性、UV硬化型、ポリエステル、アクリル、ウレタン樹脂が含まれる

連結貸借対照表

(億円)	2020 期末	2021 期末	増 減
流動資産	4,000	5,421	1,421
有形固定資産	2,281	3,077	796
無形固定資産	115	523	408
投資その他の資産	1,784	1,694	△ 90
資産合計	8,180	10,715	2,535
流動負債	1,972	3,056	1,084
固定負債	2,694	3,849	1,155
負債合計	4,666	6,905	2,239
株主資本	4,090	4,039	△ 51
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 905 (△ 823)	△ 580 (△ 555)	325 (269)
非支配株主持分	329	351	22
純資産合計	3,514	3,810	296
負債純資産合計	8,180	10,715	2,535
期末レート USD/円	103.14	115.10	
有利子負債残高	2,667	3,842	1,175
現預金残高	449	383	△ 66
ネット有利子負債	2,219	3,460	1,241

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2020	2021	増 減
営業キャッシュ・フロー	545	448	△ 97
投資キャッシュ・フロー	△ 330	△ 1,476	△ 1,146
財務キャッシュ・フロー	63	995	932
現金及び現金同等物の期末残高	414	376	△ 38
フリーキャッシュ・フロー	214	△ 1,028	△ 1,242
運転資本の増減額	85	△ 161	△ 245
設備投資・投融資	371	1,682	1,311
減価償却費・のれん償却額	327	381	53

 C&E取得のための支出

2022年度：通期の業績見通し

(億円)	2021	2022 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	8,554	9,500	+ 11.1%	+ 11.1%
営業利益	429	540	+ 25.9%	+ 26.1%
営業利益率	5.0%	5.7%	-	
経常利益	438	535	+ 22.3%	
純利益*1	44	280	+ 541.4%	
1株当たり純利益(円)	46.12	295.81	-	
EBITDA*2	690	880	+ 27.5%	
設備投資・投融資	1,682	830	△50.6%	
減価償却費・のれん償却額	381	440	+ 15.6%	
平均レート				
USD/円	109.75	110.00	+ 0.2%	
EUR/円	129.73	130.00	+ 0.2%	
ROIC*3	4.8%	5.2%		
ネットD/Eレシオ *4	1.0倍	1.0倍		
(ネットD/CLレシオ *5)	(47.6%)	(48.7%)		
年間配当/株(円)	100.0	100.0		
配当性向	216.8%	33.8%		

*1親会社株主に帰属する当期純利益

*2EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

*3ROIC：営業利益×(1-実効税率28%) / (ネット有利子負債＋純資産)

*4ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債/自己資本

*5ネットD/CLレシオ：ネット有利子負債 / (ネット有利子負債＋純資産)

2022年度：上期の業績見通し

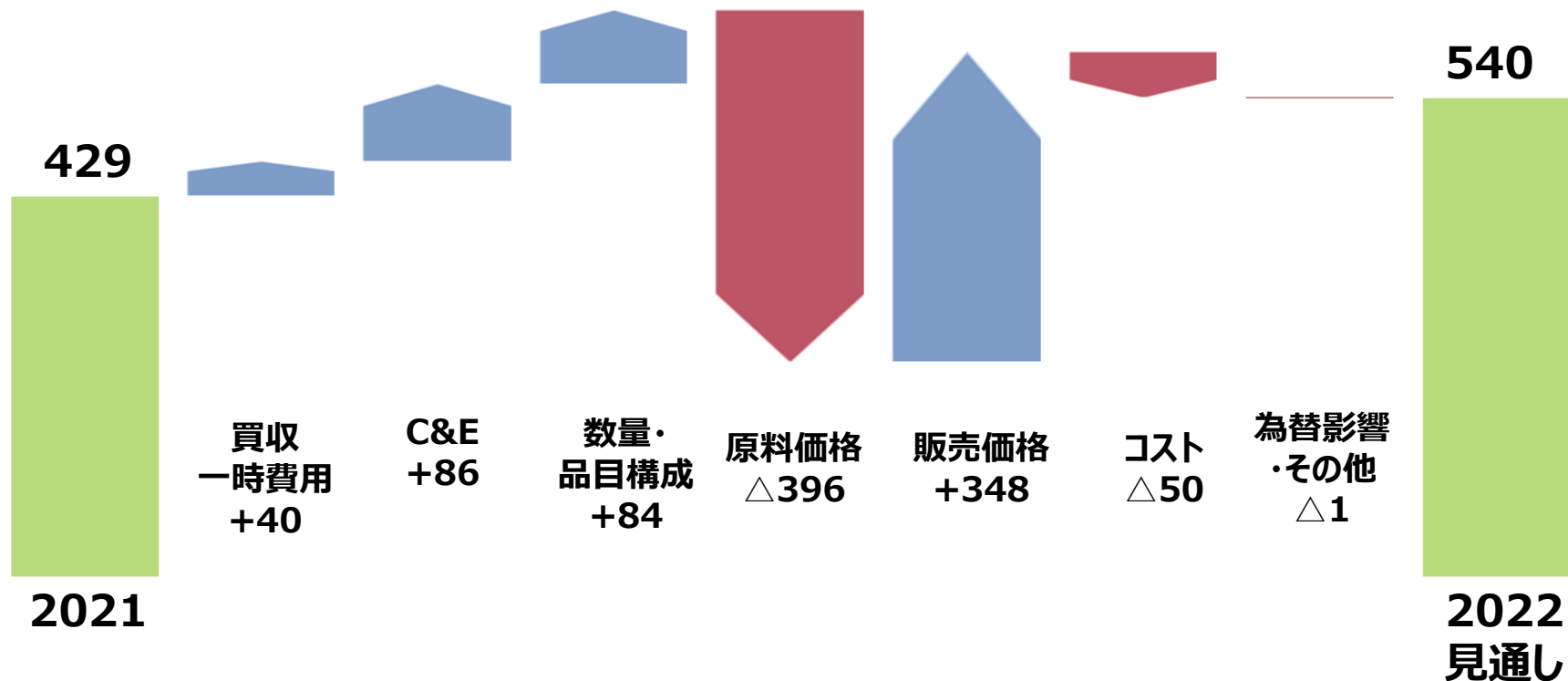
(億円)		2021 2Q	2022 2Q見通し	増減比
売上高		3,918	4,650	+ 18.7%
営業利益		273	260	△4.8%
営業利益率		7.0%	5.6%	—
経常利益		282	255	△9.7%
純利益*		160	140	△12.7%
1株当たり純利益 (円)		169.33	147.91	—
平均レート	USD/円	107.68	110.00	+ 2.2%
	EUR/円	129.63	130.00	+ 0.3%

*親会社株主に帰属する当期純利益

2022年度：営業利益増減要因

- C&Eの売上高1,156億円、営業利益32億円（シナジー含む）を見込む
- 見通しの前提となる原油価格（WTI）は\$80台。原油価格の上昇に加え、需給のタイト化により原料コストの上昇が続くと見込まれるが、引き続き価格対応に取り組む

(億円)



2022年度：通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し
パッケージング & グラフィック	4,398	4,800	402	+ 9.1%	+ 9.1%	216	240	24	+ 11.0%	+ 11.0%	4.9%	5.0%
日本	1,147	1,192	45	+ 3.9%	+ 3.9%	48	57	9	+ 17.6%	+ 17.6%	4.2%	4.8%
米州・欧州	2,651	2,952	301	+ 11.4%	+ 11.1%	132	138	6	+ 4.6%	+ 4.3%	5.0%	4.7%
アジア他	731	802	71	+ 9.7%	+ 10.7%	38	45	7	+ 19.2%	+ 20.3%	5.2%	5.6%
連結調整	△ 130	△ 146	△ 16	-	-	△ 2	△ 1	2	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,672	2,200	528	+ 31.6%	+ 31.5%	40	160	121	+ 305.1%	+ 308.0%	2.4%	7.3%
日本	326	303	△ 24	△ 7.3%	△ 7.3%	69	72	3	+ 4.4%	+ 4.4%	21.1%	23.7%
海外	1,457	2,093	636	+ 43.6%	+ 43.5%	△ 28	88	116	黒字化	黒字化	-	4.2%
連結調整	△ 112	△ 196	△ 84	-	-	△ 2	0	2	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,833	3,000	167	+ 5.9%	+ 6.1%	262	250	△ 12	△ 4.6%	△ 4.4%	9.2%	8.3%
日本	2,013	2,032	19	+ 1.0%	+ 1.0%	161	144	△ 17	△ 10.7%	△ 10.7%	8.0%	7.1%
海外	1,083	1,273	189	+ 17.5%	+ 18.0%	101	106	6	+ 5.5%	+ 5.9%	9.3%	8.3%
連結調整	△ 263	△ 305	△ 42	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 349	△ 500	△ 151	-	-	△ 89	△ 110	△ 21	-	-	-	-
連結合計	8,554	9,500	946	+ 11.1%	+ 11.1%	429	540	111	+ 25.9%	+ 26.1%	5.0%	5.7%
USD/円	109.75	110.00		+ 0.2%		109.75	110.00		+ 0.2%			
EUR/円	129.73	130.00		+ 0.2%		129.73	130.00		+ 0.2%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイセグメントに含まれている

主なトピックス (2021年10月～12月)

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2021/>



- 10月

 生産現場における技術伝承を目的としたAIシステム「Prism」を開発し運用開始
- 11月

 SIAA認証を取得した抗菌・抗ウイルスニスのラインアップを拡充
- 11月

 世界的なESG投資指標「ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックス アジアパシフィック」(DJSI AP) の構成銘柄に7年連続で採用
- 12月

 DICと日立、樹脂製造における次世代プラント実現に向け本格的な協創開始
 – 製造プロセスを自動化するデジタルツイン技術の実用化に向け、高精度な反応予測モデルを構築 –
- 12月

 アナリスト・投資家向けESG説明会を初めて開催

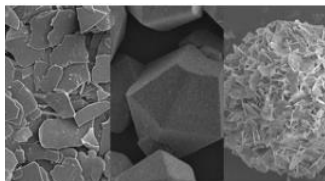
[ESG説明会資料をウェブサイトに掲載しています](#)

新事業製品

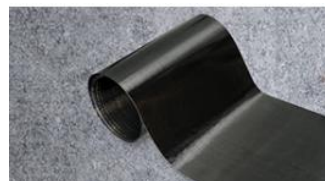
やわらか無線センサー
ハットトッテ®



機能性無機酸化物 (特殊形状アルミナ)
CeramNex™



速硬化炭素繊維強化プリプレグ
DICARBO® LF



スイセンジリ由来多糖類
サクラン®



事業セグメントと主要製品

提供価値

パッケージング & グラフィック



包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー & ディスプレイ



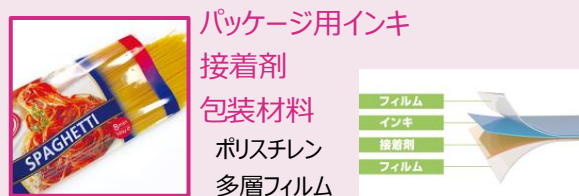
表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ

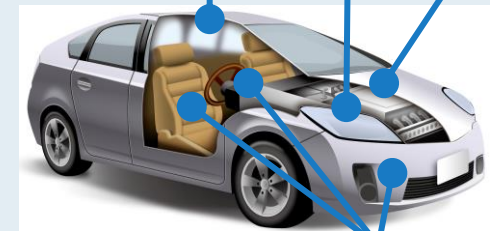
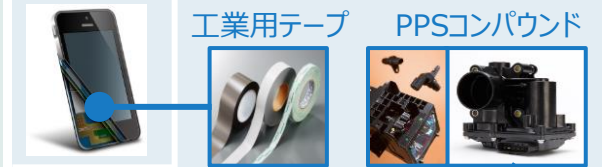


機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品



機能性顔料

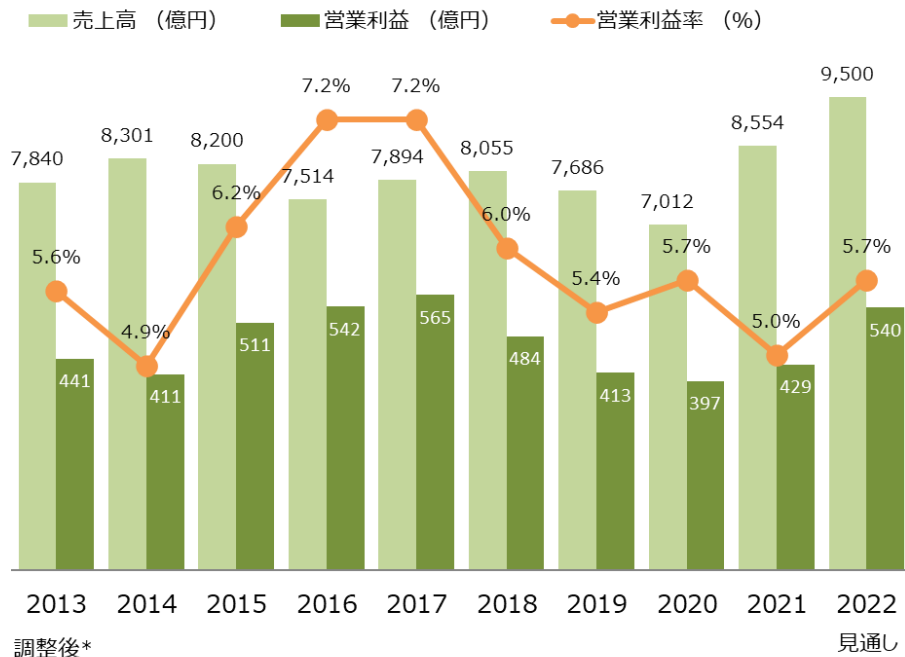


2021年度実績数値

* 水性樹脂、UV硬化型樹脂、ポリエステル、アクリル、ウレタン

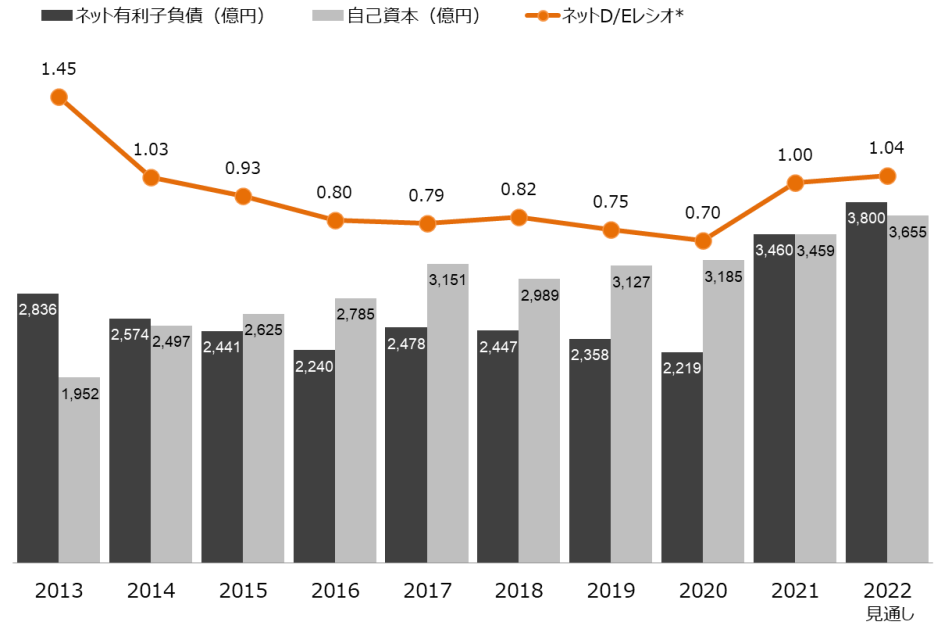
業績の推移 (参考)

業績



*決算期変更の影響を調整しています

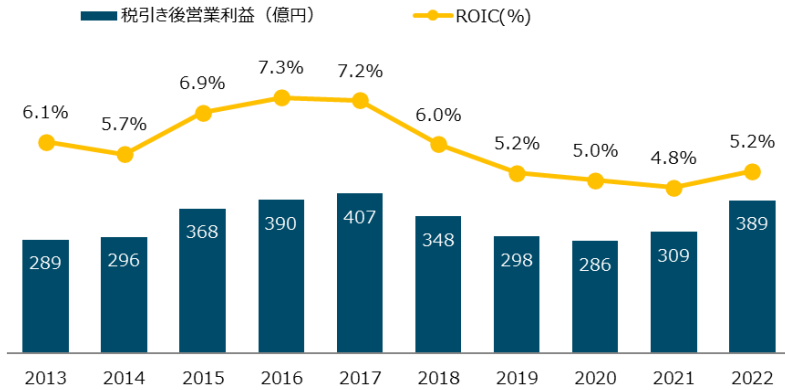
財務体質



* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

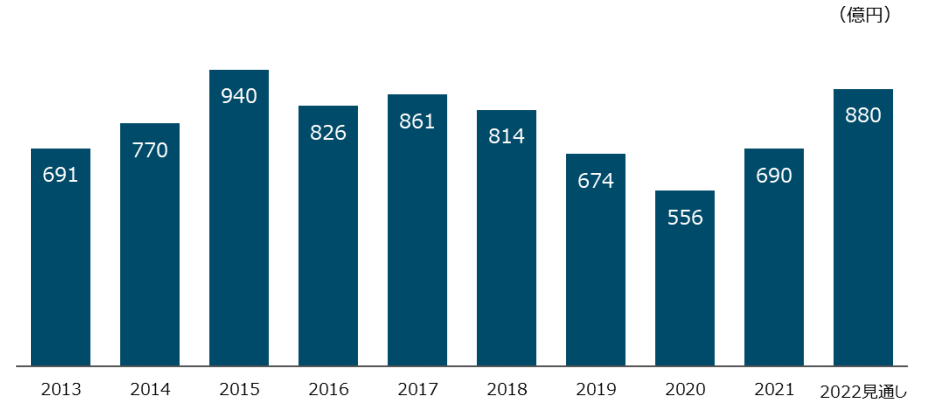
業績の推移 (参考)

ROIC*



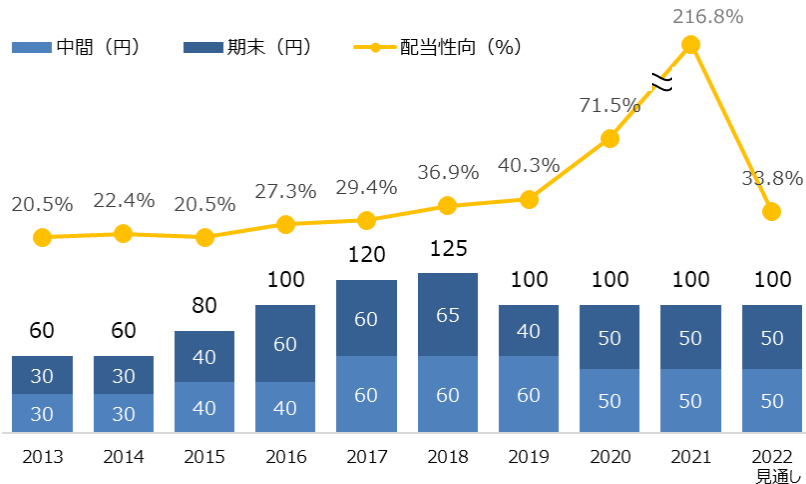
*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産) 見通し

EBITDA*



*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

株主還元*



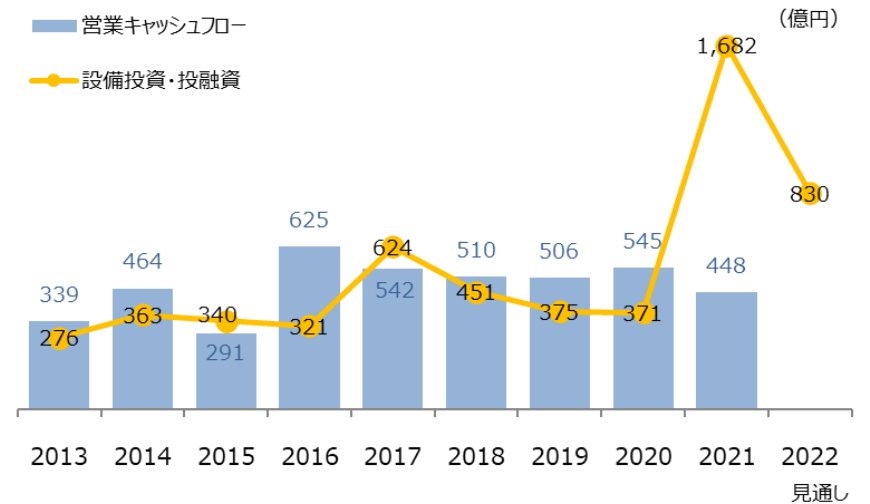
利回り (%)**

1.9 2.1 2.4 2.8 2.8 3.7 3.3 3.8 3.5

* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り : 年間配当金/期末の株価終値

設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation